



みなみの風

ドリーム & チャレンジ！ ～あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん～

坂下南小学校
学校だより

NO. 33

R6. 7. 10

(文責:校長 菅家 篤)

雨の日に☂☂☂

本格的な梅雨の季節になり、じめじめ蒸し暑い日が続いています。雨が降り、外遊びができなかった今週月曜日の昼休み、子ども達はどんな過ごし方をしているのだろうと思い、校舎内を見て回りました。写真は、5・6年生の様子です。委員会の仕事をしたり、カードゲームに興じたり、電子ピアノを弾いたりしていました。一人ぼっちで淋しそうにしている子は見当たらず、仲間と思い思いに過ごしている姿ばかりでした。

☂雨の日の仲間と自分の“いい風景”です(*^o^*)

お天気の日に
遊びに誘ってくれる人も
素敵だけれど
雨の日に
傘をさしかけてくれた
あなたを
私は、大切に思います



子どもたちの灯台に

『プレジデント』2008年1月号 石田衣良のコラムから抜粋

みなさんは、勉強をしるとか、仕事がついとかが以外の実のある言葉を子どもたちに言っていますか。大人として暮らしているなかで、こんな楽しみややりがいがあると、子どもたちに伝えていませんか。あなたなりの趣味やセンス、生きる喜びを表現していますか。子どもたちは、そういうものに特に敏感なのだ。これは収入や地位の問題ではない。大人として生きていく上で本来なら避けられないテーマなのだ。あなたは今、生き生きと暮らしていますか。不景気や多忙の中で生きる喜びまで削られてしまっていないですか。関係性を改善するには、まず相手を変えるのではなく自分が変わらなければいけない。あなたの生活自体が嵐の海で迷う子どもたちを導く灯台にならないといけないのです。



何かと忙しい毎日ですが、たとえ僅かな灯火でも、心に持ち続けて子どもたちに接していきたいと思う学期末の私です。